「ウイグル問題」と関わり続けて

関わり続けてきた筆者が、その道程を振り返る。 さまざまな立場の人たちと交錯しながら、「ウイグル問題」に 九九〇年代に留学生としてウイグル文化に触れ

一○○○年代半ばからは研究者としてウイグル人と交流を重ねる。

〇五年頃から私は、 以下、 世界各地に散らばるウイグル その調査記録を根拠に、 新疆)をめぐる諸問題につい 中国

北京のライブハウスで

上がり、

脅かす行為を成していることに欧米や日本から非難の声が の近くに火葬場を建設するなど、人権どころか生存権さえ 壊され、ムスリムは土葬が慣例であるのに大規模収容施設

難決議もなされるようになった。しかし、ウイグル人への

中国共産党によるテュルク系ムスリム弾圧への批

人権抑圧はここ数年に始まったわけではなく、ソ連邦崩壊

あたりから、徐々に悪化の道をたどってきたのである。

が国家主席となった中国では、 A の発揚が盛んに行われ、九七年には中国全土で愛国主義 九八九年天安門事件の後、鄧小平に登用された江沢民 党主導によるナショナリズ

の現状理解の一助としたい。 る「ウイグル問題」に取り組んだ経験をここに記し、 て、さまざまな場で言及してきた。これまで私が、いわゆ 新疆ウイグル自治区 者への聞き取り調査を始め、

夏頃からウイグル人らテュルク系ムスリムを長期拘束し始

ンター」を騙った大規模な強制収容所を建設し、その年の

国政府は二〇一六年から新疆各地に「職業技能教育セ

中

めた。モスクやムスリム墓地、ウイグル人居住地は徹底破

門は現代中国史・近現代日中関係史。 学院博士課程単位取得満期退学。

二〇〇〇中国人民大学へ留学。著書に 以前 中国対日工作者たちの回想』など。 「中国を追われたウイグル人」「「反日 一九九○~九三年復旦大学、九八~ みずたに

なおこ

日本女子大学大

水谷尚子 明治大学准教授 九〇年代北京の自由さの裏で、新疆ウイグル自治区では

大学へ留学したが、何かにつけふっかけられる「歴史人民大学へ留学したが、何かにつけふっかけられる「歴史た。八〇~九〇年代の北京では、アブドゥケリム・アバッカの伝記『天山雄鷹』やボルハンの回想録『新疆五十年』、フの伝記『天山雄鷹』やボルハンの回想録『新疆五十年』、フの伝記『天山雄鷹』やボルハンの回想録『新疆五十年』、フの伝記『天山雄鷹』やボルハンの回想録『新疆五十年』、東夏出版社からサイフディン・エジズの『サイフディン回華夏出版社からサイフディン・エジズの『サイフディン回華夏出版社からサイフディン・エジズの『サイフディン回華夏出版社からサイフディン・エジズの『サイフディン回華夏出版社から社覧』が社会不満への、教育基地が建設される。「反日愛国行動」が社会不満への、教育基地が建設される。「反日愛国行動」が社会不満への、教育基地が建設される。

九〇年代後半から二〇〇〇年代初頭の北京では、ウイグル人は閉店後、戸締まりをしてから身内だけのジャムケル人は閉店後、戸締まりをしてから身内だけのジャムケッションを明け方まで続ける。中国プロパガンダ歌謡をセッションを明け方まで続ける。中国プロパガンダ歌謡をセッションを明け方まで続ける。中国プロパガンダ歌謡を中でがル風に変えて揶揄するなど政治主張の強い音楽を即興演奏する姿は、まるでソ連時代のヴィソツキーやブラット・アクジャワのようだった。

出なもので、抵抗が蟷螂の斧であることは明白であった。 選によって中央アジアではテュルク系民族を主体とする 国々が建国したように、新疆の地も独立し得るのではない がし、こうした動きは当時の新疆党書記王楽泉の「厳打(厳かし、こうした動きは当時の新疆党書記王楽泉の「厳打(厳したがキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場すしたドキュメンタリー番組を放送したが、その中に登場する「反革命分子から押収した」とされる武器の山は、まるで日中戦争期に八路軍が使用した手榴弾や地雷のような稚地なもので、抵抗が蟷螂の斧であることは明白であった。

になったとの噂も聞いた。灰狼はウイグル民族の象徴であれて年二月イリで起きた大規模な反政府デモへの凄惨な弾力と年二月イリで起きた大規模な反政府デモへの凄惨な弾圧を、九九年八月に拘束されたラビア・カーディルについ圧を、九九年八月に拘束されたラビア・カーディルについたが、ウイグル人たちは声を潜めて語った。同年の建国五○とソ話を続けるウイグル人たちは声を潜めて語った。同年の建国五○とソ話を続けるウイグル人をよく見かけるようになったとの噂も聞いた。灰狼はウイグル料理屋の閉店後、ヒソ九○年代末の北京では、ウイグル料理屋の閉店後、ヒソカ○年代末の北京では、ウイグル料理屋の閉店後、ヒソカ○年代末の北京では、ウイグル料理屋の閉店後、ヒソカーを対している。

人ごと消滅した。 に治安維持などの名目で「再開発」され、ウイグル村は住る。北京のウイグル人街、魏公村と甘家口は、二〇〇一年

二○○○年、中国政府は「西部大開発」の号令をかけ、スローガン「西気東輸(新疆の天然ガスを沿海部に運ぶ)」ない。
立れた地を奪われて郊外移住を強要された。留学生活最後の頃、私はウイグル人集落が各地で破壊された。留学生活最後の頃、私はウイグル人の友人たちを新疆各地に訪ねたが、住み慣私はウイグル人の友人たちを新疆各地に訪ねたが、住み慣れた地を奪われて郊外移住を強要された友人は、「こんなか策を遂行していたら、誰でも反政府的になってしまう」とつぶやいた。
江沢民政権末期に提唱された「西部大開発」の号令をかけ、、政治指導者が胡錦濤に変わっても継続遂行された。

えており、私は釘付けになった。

ラビア・カーディルのインタビュー

彼女のインタビューを発表して間もなく、アムネスティ・

食さない香草を栽培し、箸でラグメンを食べている姿を捉らさない香草を栽培し、箸でラグア』では、トルコのウイグル人亡命者集落に流浪の末録できなかったことを気にしていた秦氏だったが、『ユーとき、その主体民族であるウイグル人について正面から記と谷底に転落し、死亡した。『シルクロード』を制作した

〇五年春、北京留学時に知り合っていた産経新聞元ワシントン支局長の古森義久氏から「アメリカに亡命したばかりの元政治囚ラビア・カーディルはソ連貿易が当たって大富革開放期、ラビア・カーディルはソ連貿易が当たって大富薬となり、新疆での成功者だった。ところがソ連崩壊後、中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、旧ソ連と中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、旧ソ連と中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、旧ソ連と中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、旧ソ連と中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、旧ソ連と中国共産党は中国がソ連のようになるのを恐れ、財産を没収家分裂主義者」のレッテルを貼られ投獄され、財産を没収された。当時、日本でウイグル問題は認知されておらず、それた。当時、日本でウイグル問題は認知されておらず、発表する媒体探しはたいへん難航したが、ようやく『諸発表する媒体探しはたいへん難航したが、ようやく『諸発表する媒体探しはたいへん難航したが、ようやく『諸発表する媒体探しはたいへん難航したが、ようやく『諸というに対している。

れ、○七年秋に実現した。 インターナショナル日本の中国部門による初来日が企画さ

その際、紹介を得て安倍元首相の私邸に、ラビア、夫の総理大臣職を病気治療のため辞任し、療養を終えて退院の総理大臣職を病気治療のため辞任し、療養を終えて退院でイルだと聞いた。時間をかけてウイグル人の状況を聞いてくれた安倍氏は、「ウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訊ねた。私はウイグル人政治犯トフティ・テュニアが」と訳ねた。本はウイグル人政治犯トファイチル間間と日本との接点はない、家族が暮らす日本に帰ってこられるか心配だ」と伝えが、家族が暮らす日本に帰ってこられるか心配だ」と伝えが、家族が暮らす日本に帰ってこられるか心配だ」と伝えが、家族が暮らす日本に帰ってこられるかい配だ」と伝えが、家族が暮らす日本に帰ってこられるかい配だ」と伝えが、家族が暮らず日本に帰っていた。

る必要がある。それは欧米では自明のことであっても、日自身の思想信条とは異なる考えの政治家や官庁ともつなが越えてウイグル人の人権問題にコミットするならば、自分る難しさに苦悩し続けるようになった。学問的興味関心をこの頃から私は、日本で他国や他民族の人権問題を論ずこの頃から私は、日本で他国や他民族の人権問題を論ず

振り下ろす先のない憤りが私の中にある。 しッテルを貼られ続けた。これについては、現在でも拳をければならず、また秘匿事項も多い。その結果、私は常に研究ともジャーナリズムとも異なり「全方位外交」をしな研究ともジャーナリズムとも異なり「全方位外交」をしなが、白か赤かを常に問われた。人権活動は、学術本社会ではそうでなく、ある集団や協力者に有利か不利か、本社会ではそうでなく、ある集団や協力者に有利か不利か、本社会ではそうでなく、ある集団や協力者に有利か不利か、本社会ではそうでなく、ある集団や協力者に有利が不利か、

世界各地のウイグル人を取材

(以下次号)